
白猫

tei

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白猫

【Nコード】

N4239P

【作者名】

te i

【あらすじ】

妻の膝枕で耳かきをしてもらっている「私」。しかし、どうも妻の様子がおかしい……。内田百？風に書きました、笑い話のような怪談話です。他サイトにも投稿しています。

よく晴れて、気持ちのいい昼下がり、私は妻の膝に頭を預けて耳掃除してもらっていた。少しうとうとしかけながら妻の話に耳を傾けていたが、どうもその言葉の調子から、何かにひどく怒っているようだと思う。しかし妻は穏やかな気性の持ち主で、何かに怒って声を荒げるなどということは無いと思う。ないと思うがしかし、実際に今、何かにひどく腹を立てているようである。

不思議に思い、もっと注意して聞いてみようと思うのだが、片方の耳は塞がっているし、もう片方は耳かきさがさごといつているので、どうも不明瞭で聞き取りづらい。まあいいかと思いつながら、私はまたうとうとした。

妻のおしゃべりは一向に止まない、やむ気配がない。私は時折あくびをかみ殺し、それでも一応聞いていた。相変わらず何かに怒っているようであるが、私にはよく分からない。

「……あの時、あなたが、……」

何やら、妻は私に対して怒っているようである。しかし耳掃除をしてもらいながら半分夢うつつの私には、とんと心当たりがない。黙っていると、段々妻の耳かきを動かす手が乱暴になってきたようである。そもそも、片方の耳を掃除するのに、どうも時間がかかりすぎているような気もする。それでも私はだんまりを決め込んでいた。妻の声の調子が、だんだん高くなっていく。それにつれて、ますます言葉の一つ一つが聞き取りづらくなっていく。

「だから、……それで、私は……」

妻の息が荒い。目を閉じている私の顔に、ふうふうと息がかかる。どうも臭い。おかしいな、魚のような匂いがするぞ、と私は思い、それでもただじっとしていた。動くのは面倒だったし、妻の耳掃除は続いているので、急に動くわけにもいかない。私はされるがままになっていた。妻はふんふんと鼻息荒く顔を近づけてくるようであ

る。

「……あの時、あんなことを」

言いながら、妻の、私の頭を押さえていたほうの手に、力が入った。おや爪が伸びているな、と私は思い、次いで、昨日の昼に妻が爪の手入れをしていたことを思い出した。爪というのは一夜でこんなに伸びるのか、と私は一人で感心する。そういえば、妻は先ほどから右足を気にしているようだ。ずっと私の頭を乗せているせいで痺れてしまったのかもしれない。

妻は相も変わらず耳かきを乱暴にひねくり回し、まるで私の鼓膜を破ってやるうとでも考えているようだ。

「あなたは……、」

妻の音が一段と高く響いた時、私ははっとして眼を開いた。そして動いていた耳かきを掴んで離し、急いで起き上がった。妻のほうを見ると、輪郭がはつきりしない白い顔に、にたあという笑いを貼り付けて、こちらを見ていた。爪が異常に長い。

「お、お前はまさか、」

「みゃーーーーーお」

妻は一声高く鳴き、縁側から、外へ続いている庭へと、両手両足を使って、右足をちよつと引きずりながら、猫のように行ってしまった。それを見送った私は嫌な気持ちが出た。

その後、戸締りをきちんとして、部屋にこもって眠った。夕方ごろ、爪の短い妻が私を起こしに来た。さっきのあれは夢だったのか知らん、と考えたが、夕食の頃に窓の外をふと見ると、右足を引きずって庭を横切りながら、こちらを眺めていた白い猫と目が合った。

「みゃーーーーーお」

私は卒倒した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4239p/>

白猫

2011年9月10日21時40分発行